

無期停学
被処分者

4学生のアピール

戦争阻止の第2波ストライキへ！ 作部羊平 (同学会委員長・工学部)



かつて「学徒動員」に行き着きアジア人民を虐殺し、今「自由の学風」を騙りながら安倍の戦争に加担する京都大学から、戦争絶対反対のうねりが始まっています。これは改憲国会を打ち破り、朝鮮侵略戦争を阻止する闘いの号砲です。「はじまる前に戦争を止める」、これが私たちの決意です。「ゼネストで闘う国際連帯」にこそ、その力と展望があります。

大学を学生の手に取り戻そう！ 阿津良典 (書記長・地球環境学舎)



法人化以降の大学は経営に学外の企業重役を招き入れる一方で市民・学生に対しては運営の隠蔽を進めている。大学を私たちの手に取り戻しましょう。あまりにも学生の人生と乖離した今の大学の講義にはまったく説得力がありません。学生は、「与えられた選択肢」をいつまでも大人しく選び続ける存在ではありません。必ず団結して「枠」を壊す道を選びます。

学生には無限の可能性がある！ 大森靖之 (前委員長・薬学部)



京大当局も安倍政権の改憲策動と一体で大きく変質しています。独裁体制を進めて、原発事故の時のように政権に都合のいい学問しかやらせないつもりでしょうか。

私たちが堂々と夢を語る職場・学園を取り戻そう。そのために大胆かつ創造的なストライキが必要です。私は分断と脅しの処分を許さず、最後まで皆の手を握る団結の立役者になって頑張ります。

学生の団結こそが戦争をとめる！ 高田暁典 (執行委員・工学部)



昨年の京大反戦バリストは、学生の暴動的決起を呼び起こす号砲です。安倍政権の戦争政治に屈服し、学生の主体性を押しつぶす京大山極総長体制の破綻を全社会に明らかにしました。

無期停学処分の撤回は、ストライキの復権によってこそなされます。民衆が団結して行動すれば無期停学処分の撤回どころか世界的な労働法制改悪や戦争も打破できる時代が来ています。

署名とカンパのご支援よろしくお願いします

署名集約先

〒606-8393 京都府京都市左京区東竹屋町50
京都大学熊野寮内 高田暁典宛

※署名用紙はホームページからダウンロードできます。
「京都大学全学自治会同学会」で検索。

京都大4学生への 無期停学処分の撤回を求めます

氏名	住所



カンパ振り込み先

● ゆうちょ銀行からの振り込みの場合
【記号】 14430
【番号】 41856491
【名義】 キョウトダイガクドウガクカイ

● 他銀行からの振り込みの場合
【店名】 四四八 (読み ヨンヨンハチ)
【店番】 448
【預金種目】 普通預金
【口座番号】 4185649
【口座名義】 キョウトダイガクドウガクカイ

京大 反戦ストライキで『無期停学』処分!?



処分撤回署名にご協力を!

2015年10月の京都大学反戦ストライキの先頭に立った全学自治会同学会執行部の作部くん、阿津くん、大森くん、高田くんの4名に、山極壽一総長は「無期停学」処分を下しました。昨年9月の安保法制強行採決に怒りを燃やして戦争阻止の実力行動に立ったことが、「大学の秩序を乱した」「学生の本分を守らない行為」というのです。この無期停学処分は、4学生のみならず全京大生・全国学生・労働者に対する弾圧です。私たちはこの処分を絶対に認めません。3万筆の署名を集めて処分を撤回させよう!

私たちも賛同します! ~処分撤回署名運動賛同人・団体~

駒込武 (京大教育学研究科教授) / 河田創 (京都弁護士会) / 山下潔 (京都弁護士会) / 木下達雄 (浄土宗大林寺住職) / 坂本博之 (茨城県弁護士会) / 新川登茂宣 (広島弁護士会) / 富崎正人 (大阪弁護士会) / 永田誠 (東京弁護士会) / 山崎吉男 (福岡県弁護士会) / 山下茂 (埼玉弁護士会) / 自立労働組合京都 / 全日本学生自治会総連合 / 法政大学文化連盟 / 沖縄大学学生自治会 / 東北大学学生自治会 / 広島大学学生自治会 他多数

(敬称略 10月12日現在)

京都大学全学自治会同学会中央執行委員会

【FAX】 075-320-2538 【mail】 dougakukai.kyoto@gmail.com
【blog】 http://dougakukai.blog.fc2.com/ 【twitter】 @dgkec 【facebook】 京大同学会執行委員会

同学会のたたかい

2012年

2011年の福島原発事故を受けて
なお「放射能安全」キャンペーンに加担する京大の現実を変えるために、数十年ぶりの全学選挙で学生自治会を再建。



2014年

京大キャンパスに入り込んでスパイ活動していた公安警察を摘発「京大ポポロ事件」。

2015年

9月安保法制に反対し、国会前闘争に連日決起。「法律は通っても戦争は現場で止める」——世界の仲間と連帯して戦争を拒否する力を学生に取り戻すため、10・27京大反戦ストライキに立つ。



2016年3月

京大当局がストライキを刑事告訴（戦後史上初）。学生6名が不当逮捕されるも、市内デモ（上写真）と2500を超える署名で不起訴釈放（下写真）。「反戦ストは無罪！」を勝ち取る。

2016年7月～

7月に4学生に「無期停学」処分が下される。8・25署名提出行動→9・26臨時国会開会日直撃デモ→9・26山極総長・川添副学長弾劾デモ→10・3後期開講日デモ（下写真）を連続的に打ち抜く。大学当局は5000を超える署名の受け取りを拒否し続けている。それでも被処分者4名は屈することなく元気に闘い続けています!!!!



無期停学処分の撤回は、京大から戦争を止めるたたかいです！

安倍首相は臨時国会開幕日の施政方針演説で、「改憲を進める」と表明しました。北朝鮮の核実験を口実に、米・日・韓3国の軍事同盟強化によって「我が国の領土、領海、領空は、断固として守り抜く」と、自衛戦争の名で朝鮮戦争に突き進もうとしています。

今国会では同時に、「働き方改革」「『非正規職』という言葉をなくす」といって、実際には全労働者を非正規雇用の水準にまで切り下げる「労働法制大改革」を進めようとしています。すでに東北大学では2018年を前にして非正規雇用の教職員3200人に解雇通告がなされています。

韓国では、戦争と労働改悪と対決するゼネラルストライキが闘われています。処分撤回運動は、沖縄や世界で闘う仲間と連帯し、安倍の戦争・改憲をとめる闘いです。



安倍の所信表明演説に総立ちして拍手する自民党国会議員（9月26日）



警察の暴力に屈せずヘリパッド建設阻止を闘い抜く沖縄・高江。



ストライキ集会に参加するソウル大学病院の労働者

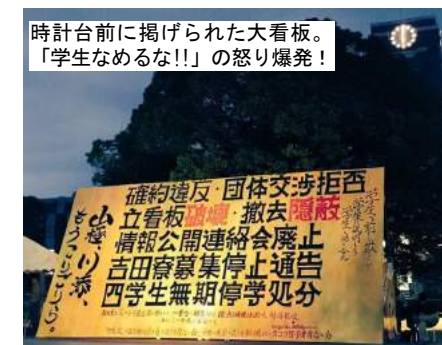
大学の戦争動員阻止！
3万筆の署名で
戦争・改憲をとめよう

大学でも軍事研究が公然と始まりました。防衛省が6億円（2017年度概算要求は110億円！）もの予算を投じて大学や研究機関で軍事研究をさせています（「全保障技術研究推進制度」）。

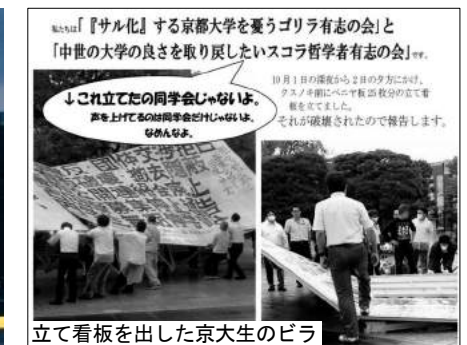
それと一体で、「自由の学風」と言われる京大が大きく変質しています。反戦ストへの無期停学処分に加え、10月3日には朝鮮戦争切迫とレッドパージの時に制定された規程を持ち出して処分撤回集会の禁止を通告（集会禁止は65年ぶり！）。同日早朝には京大当局の暴挙に抗議する立て看板を破壊。改憲の現実が大学で始まっています。昨年の京大ストと集会禁止の中で打ち抜かれた10・3京大集会は、学生の絶対反対の行動で改憲・戦争を阻止できることを示しました。学生・労働者の怒りを処分撤回署名に集め、大学の戦争動員とめよう！



9/26東京新聞



時計台前に掲げられた大看板。「学生なめるな!!」の怒り爆発！



立て看板を出した京大生のピラ